

社会資本総合整備計画書

(第3回変更)

(おやべし
小矢部市)

次代に住み継ぐ住宅ストックの形成

(小矢部地域住宅計画)

平成29年3月

社会資本総合整備計画

平成29年3月7日

計画の名称	1 次代に住み継ぐ住宅ストックの形成（小矢部地域住宅計画）							重点配分対象の該当	—								
計画の期間	平成25年度～平成29年度（5年間）			交付対象	小矢部市												
計画の目標	A1-1・セーフティネットの構築と少子高齢社会への対応を推進し、豊かで安全でゆとりある住まい・まちづくりの実現 A1-2・まちづくりと連動した地域の活性化に寄与する住環境の整備と、住文化の継承 A1-3・地震に強いまちづくりと屋内避難施設の耐震化 A1-4・安全・安心な住環境を確保し、良好な地域づくりの推進																
計画の成果目標（定量的指標）	A1-1・市営住宅の公営住宅等整備基準（条基基準）適合率を向上するとともに市営住宅団地の安全性・快適性の向上を図る A1-2・住宅ストック・住環境改善件数を増加させる A1-3・屋内避難施設の大規模空間天井崩落対策の実施 A1-4・老朽危険空き家の除却 A1-5・空き家等対策計画の策定等に必要空き家等の実態把握調査の実施																
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値			備考								
						当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)									
A1-1	・公営住宅のストック改善化の割合					10%	18%	30%									
A1-2	・住文化を継承するために整備した空き家等の割合					60%	70%	70%									
A1-3	・大規模空間を有する屋内避難施設における天井崩落対策実施済み施設の割合					18%	100%	100%									
A1-4	・除却を推進すべき区域内の老朽危険空き家の戸数					39戸	35戸	27戸									
A1-5	・対象区域（市内全域）における空き家等実態把握調査済み面積の割合					0%	0%	100%									
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	305百万円	A	265百万円	B	C	40百万円	D	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	13.1%							
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H25	H26	H27	H28	H29				
1-A1-1	住宅	雪寒	小矢部市	直接	小矢部市	公営住宅等ストック総合改善事業	市営住宅の改善（長寿命化、居住性向上等）	小矢部市						131	—	策定済	
1-A1-2	住宅	雪寒	小矢部市	直接	小矢部市	住宅地区改良事業等（空き家再生等推進事業（活用））	大谷家の交流・展示・観光施設としての活用	小矢部市						55	—	—	
1-A1-3	住宅	雪寒	小矢部市	直接	小矢部市	住宅・建築物安全ストック形成事業（住宅・建築物耐震改修事業）	大規模空間天井の崩落防止対策	小矢部市						69	—	—	
1-A1-4	住宅	雪寒	小矢部市	間接	小矢部市	住宅地区改良事業等（空き家再生等推進事業（除却））	老朽危険空き家の除却	小矢部市						6	—	—	
1-A1-5	住宅	雪寒	小矢部市	直接	小矢部市	住宅地区改良事業等（空き家再生等推進事業（実態調査））	空き家等の実態把握調査	小矢部市						4	—	—	
合計														265			
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H25	H26	H27	H28	H29				
合計														0			
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
									H25	H26	H27	H28	H29				
1-C-1	住宅	雪寒	小矢部市	直接	小矢部市	公営住宅解体事業	老朽化した市営住宅の除却工事	小矢部市						15			
1-C-2	住宅	雪寒	小矢部市	直接	小矢部市	大谷邸屋外付帯施設改修事業	空き家再生に係る外構等の付帯工事	小矢部市						25			
合計														40			
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	
1-C-1	公営住宅等ストック総合改善事業（1-A1-1）にあわせて、老朽化した市営住宅を除却することで計画の成果目標（A1-1）の向上を図る																
1-C-2	住宅地区改良事業等（1-A1-2）にあわせて、外構などの付帯関連工事を一体で行うことにより建物の付加価値や事業価値を高める																
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業（該当なし）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
									H25	H26	H27	H28	H29				
合計														0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	

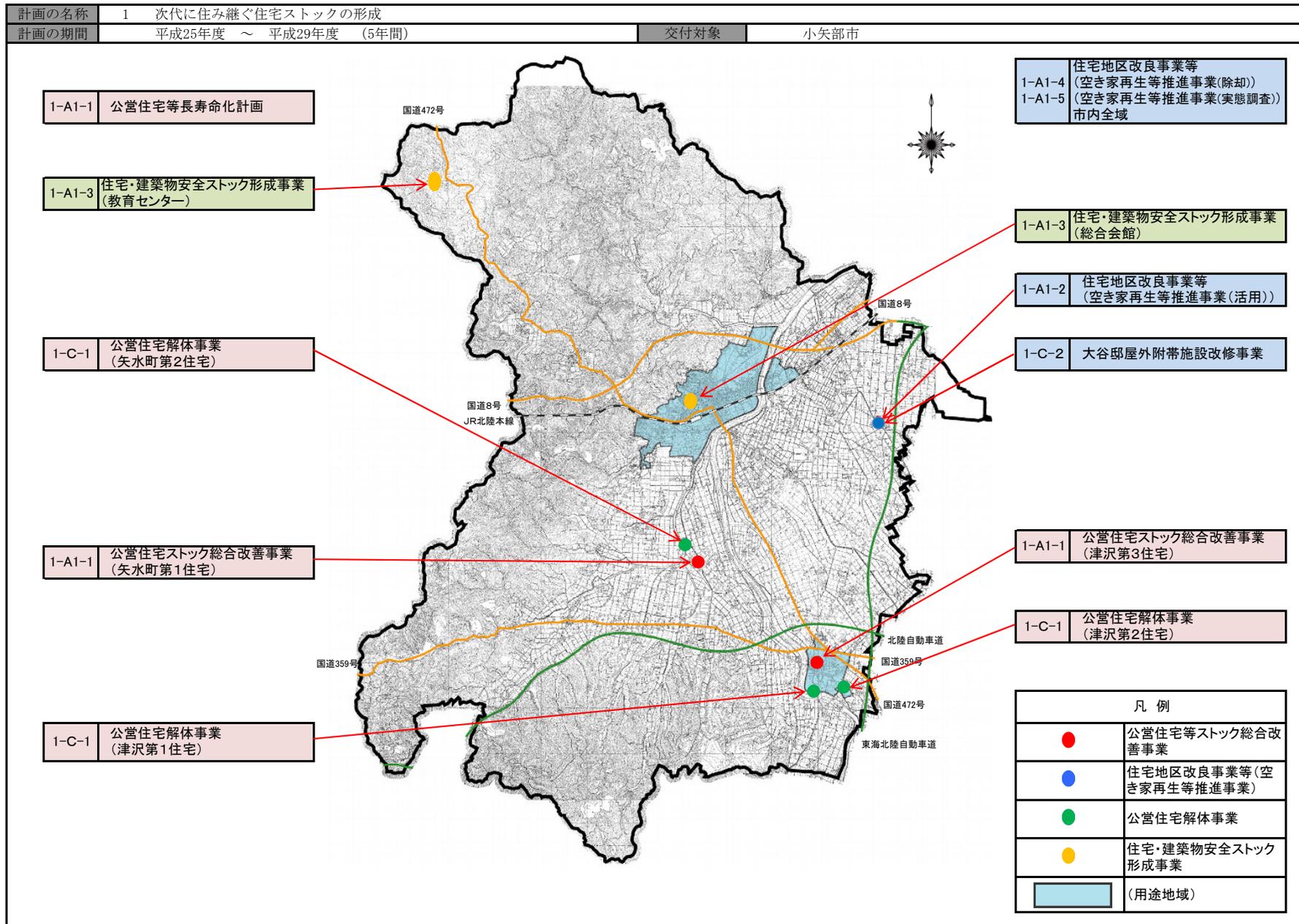
交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	39	11	11	12	18	0
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	39	11	11	12	18	0
前年度からの繰越額 (d)	0	18	0	0	0	3
支払済額 (e)	21	29	11	12	15	3
翌年度繰越額 (f)	18	0	0	0	3	0
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0	0
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	-	-	-	-	-	-

※ 平成25年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考図面)



社会資本総合整備計画 事前評価調書

計 画 の 概 要	計画の分野	二. 地域住宅支援			
	計画の名称	小矢部地域住宅計画			
	計画策定主体	小矢部市			
	事業主体	小矢部市			
	計画期間	平成25～29年度(5年間)			
	計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・セーフティネットの構築と少子高齢社会への対応を推進し、豊かで安全でゆとりある住まい・まちづくりの実現 ・まちづくりと連動した地域の活性化に寄与する住環境の整備と、住文化の継承 ・地震に強いまちづくりと屋内避難施設の耐震化 ・安全・安心な住環境を確保し、良好な地域づくりの推進 			
	定量的指標 (目標値)	公営住宅のストック改善化の割合	10%(H25)	→	30%(H29)
		住文化を継承するために整備した空き家等の割合	60%(H25)	→	70%(H29)
		大規模空間を有する屋内避難施設における天井崩落対策の割合	18%(H25)	→	100%(H29)
除却を推進すべき区域内の老朽危険空き家の戸数		39戸(H25)	→	27戸(H29)	
対象区域(市内全域)における空き家等実態把握調査済み面積の割合		0%(H25)	→	100%(H29)	
対象事業	<ul style="list-style-type: none"> ・公営住宅等ストック総合改善事業 ・住宅地区改良事業等(空き家再生等推進事業) ・提案事業(公営住宅除却) ・住宅・建築物安全ストック形成事業(住宅・建築物耐震改修事業) ・住宅地区改良事業等(空き家再生等推進事業(除却)) ・住宅地区改良事業等(空き家再生等推進事業(実態調査)) 				
全体事業費	305百万円				

項目	評価細目	評価	説明欄
目標の妥当性	1 関連する上位計画等との整合性が図られているか	○	第6次小矢部市総合計画との整合性が図られている。
	2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○	少子高齢社会の進展に伴う住宅セーフティネットとしての公営住宅の改善や、増加傾向にある空き家対策などの課題に対応している。
計画の効果・効率性	1 整備計画の目標と定量的指標の整合性が確保されているか	○	整備計画の目標に即した具体的な定量的指標としている。
	2 定量的指標が分かりやすいものとなっているか	○	客観的に求められる数値指標としている
	3 目標と事業内容の整合性が確保されているか	○	目標に対して直接的に効果が期待できる事業内容としている。
	4 中間評価・事後評価時に検証可能な適切な指標となっているか	○	数値に指標を設定しており、その達成状況に応じて事業の進捗を検証することが可能である。
	5 十分な事業効果が得られる計画となっているか	○	地域の状況、課題に即した計画であり、具体的で実現可能な事業を想定しており、十分な事業効果が見込まれる。
計画の実現可能性	1 計画の熟度が高く、円滑な事業執行の環境が整っているか	○	市民からの要望に即した事業であり、推進にあたっての環境が整っている。
	2 地元の機運が醸成されているか	○	市営住宅入居者及び市民の理解が得られている。
評価結果	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">評価Ⅰ 事業を実施</div> 評価Ⅱ 計画の見直し		【評価基準】 「評価Ⅰ」は、全項目に○印が付いているもの 「評価Ⅱ」は、1項目でも×が付いているもの

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 31 年 1 月 28 日

計画の名称	1 次代に住み継ぐ住宅ストックの形成(小矢部地域住宅計画)								
計画の期間	平成25年度 ~ 平成29年度 (5年間)	交付対象	小矢部市						
計画の目標	A1-1 ・セーフティーネットの構築と少子高齢化社会への対応を推進し、豊かで安全でゆとりある住まい・まちづくりの実現 A1-2 ・まちづくりと連動した地域の活性化に寄与する住環境の整備と、住文化の継承 A1-3 ・地震に強いまちづくりと屋内避難施設の耐震化 A1-4 ・安全・安心な住環境を確保し、良好な地域づくりの推進								
計画の成果目標(定量的指標)	A1-1 ・市営住宅の公営住宅等整備基準(条例基準)適合率を向上するとともに市営住宅団地の安全性・快適性の向上を図る A1-2 ・住宅ストック・住環境整備改善件数を増加させる A1-3 ・屋内避難施設の大規模空間天井崩落対策の実施 A1-4 ・老朽危険空き家の除却 A1-5 ・空家等対策計画の策定等に必要空き家等の実態調査の実施								
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値 中間目標値 最終目標値 (H25当初) (H27末) (H29末)					
A1-1	・公営住宅のストック改善化の割合	10%	18%	30%					
A1-2	・住文化を継承するために整備した空き家等の割合	60%	70%	70%					
A1-3	・大規模空間を有する屋内避難施設における天井崩落対策実施済み施設の割合	18%	100%	100%					
A1-4	・除却を推進すべき区域内の老朽危険空き家の戸数	39戸	35戸	27戸					
A1-5	・対象区域(市内全域)における空き家等実態把握調査済み面積の割合	0%	0%	100%					
全体事業費	合計 (A+B+C)	305百万円	A	265百万円	B	C	40百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	13.1%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
	平成30年度
小矢部市産業建設部都市計画課	公表の方法
	小矢部市ホームページで公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															
A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
1-A1-1	住宅	雪寒	小矢部市	直接	小矢部市	公営住宅等ストック総合改善事業	市営住宅の改善(長寿命化、居住性向上等)	小矢部市						131	
1-A1-2	住宅	雪寒	小矢部市	直接	小矢部市	住宅地区改良事業等(空き家再生等推進事業(活用))	大谷家の交流・展示・観光施設としての活用	小矢部市						55	
1-A1-3	住宅	雪寒	小矢部市	直接	小矢部市	住宅・建築物安全ストック形成事業(住宅・建築物耐震改修事業)	大規模空間天井の崩落防止対策	小矢部市						69	
1-A1-4	住宅	雪寒	小矢部市	間接	小矢部市	住宅地区改良事業等(空き家再生等推進事業(除却))	老朽危険空き家の除却	小矢部市						6	
1-A1-5	住宅	雪寒	小矢部市	直接	小矢部市	住宅地区改良事業等(空き家再生等推進事業(実態調査))	空き家等の実態把握調査	小矢部市						4	
合計												265			

B 関連社会資本整備事業(該当なし)																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名(港湾・地区名)	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
合計												0				

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名(港湾・地区名)	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
1-C-1	住宅	雪寒	小矢部市	直接	小矢部市		公営住宅解体事業	老朽化した市営住宅の除却工事	小矢部市						15	
1-C-2	住宅	雪寒	小矢部市	直接	小矢部市		大谷邸屋外附帯施設改修事業	空き家再生に係る外構等の附帯工事	小矢部市						25	
合計												40				

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-1	公営住宅等ストック総合改善事業(1-A1-1)にあわせて、老朽化した市営住宅を除却することで計画の成果目標(A1-1)の向上を図る	
1-C-2	住宅地区改良事業等(1-A1-2)にあわせて、外構などの附帯関連工事を一体で行うことにより建物の付加価値や事業価値を高める	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・小矢部市公営住宅等長寿命化計画に基づき、長寿命化型改善を実施することにより、既存ストックの長期的な活用について取り組むことができた。 ・空き家の活用や、老朽危険空き家の推進、また実態調査を行うことにより、市内の空き家対策事業を進めることができた。 ・市有施設の大規模空間天井の崩落防止対策を実施し、避難施設の安全性を確保した。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①（公営住宅の ストック改善化の割合）	最終目標値	30%	目標値と実績値 に差が出た要因	小矢部市公営住宅等長寿命化計画の見直しに伴い、長寿命化改善予定戸数が減少したため (改善済み住戸数)/(改善を要する住戸数) ・当初目標 13戸/125戸(10%) → 34戸/115戸(30%) ・実績 13戸/125戸(10%) → 21戸/43戸(49%) ※見直しに伴い、改善を要する住戸数72戸減
		最終実績値	49%		
	指標②（住文化を 継承するために整備した 空き家等の割合）	最終目標値	70%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	70%		
	指標③（大規模空間を有する 屋内避難施設における天井 崩落対策実施済み施設の割合）	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	財政面等の調整により、対象事業の工事が先送りされたため (天井崩落対策実施済施設数)/(大規模空間を有する施設) ・当初目標 2施設/11施設(18%) → 11施設/11施設(100%) ・実績 2施設/11施設(18%) → 10施設/11施設(91%)
		最終実績値	91%		
	指標④（除却を推進すべき 区域内の老朽危険空き家の 戸数）	最終目標値	27戸	目標値と実績値 に差が出た要因	戸建住宅は個人の財産であると共に、税法上の問題もあり、老朽危険空き家の除却が進まなかったため
		最終実績値	33戸		
	指標⑤（対象区域(市内全域) における空き家等実態把握 調査済み面積の割合）	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	100%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅の改修を計画的に行い、既存ストックの改善事業を進めることができた。 ・空き家を地域の交流・展示・観光施設として整備することにより、まちづくりと連動した地域の活性化を図ることができた。 			
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅については、小矢部市公営住宅等長寿命化計画に基づき修繕・改修工事等を行い、交付金等を十分に活用し、今後も持続可能な住宅セーフティネットの構築を図る。 ・空き家対策においては、当該計画での実績を踏まえ、的確な目標設定を行う。 					